

会 議 録

会議名称	令和5年度第3回蕨市健康づくり推進会議	
日 時	令和5年11月16日（木）13:30～：14：30	
会 場	蕨市保健センター2階 健康教育室	
出席者 （敬称略）	◎神庭 純子 ○小山 祐康 杉村 麻央 渡邊 圭一 平野 宏和 小宮 文 岡村 増美 ◎会 長 ○副会長	西武文理大学 看護学部看護学科 蕨戸田市医師会 蕨戸田歯科医師会 蕨市地域薬剤師会 埼玉県南部保健所 蕨市食生活改善推進員会 蕨市スポーツ推進委員協議会 蕨市民生委員・児童委員協議会連合会 蕨市国民健康保険運営協議会 スポーツクラブ ルネサンス蕨24 公募市民 公募市民 公募市民
欠席者	葉柳 幸代	蕨市第二地域包括支援センター
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 【各課回答一覧】スマートウエルネスシティの実現に向けた取組 ・ 資料1 第3次わらび健康アップ計画 素案 ・ 令和5年度第2回蕨市健康づくり推進会議 会議録 ・ 素案差し替え資料 	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3次わらび健康アップ計画について (2) その他 	
会議の内容 及び 主な発言	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 事務局：資料の確認。 会 長：朝から急に冷えてきて、インフルエンザなど感染症が 	

気になる季節になった。季節ごとの課題に取り組みな
がらお過ごしのことと思う。看護師や保健師は2月に
国家試験があるので、ちょうどその申請が始まる準備
の時期になっており、年末や年度末を見据えた活動が
いろいろ慌ただしくなってきた。それぞれのところで
いろいろな課題に取り組んでいることと思う。第3次
わらび健康アップ計画について、前は骨子案を確認
していただいて、今回は素案が示されての会議という
ことになる。ご意見をいただきながら活発な議論がで
きればと思う。

2 議題

(1) 第3次わらび健康アップ計画（素案）について

事務局：第3次わらび健康アップ計画（素案）について説明。

委員：これだけの素案をつくっていただき、敬意を表したい。
国の目標などがある中で、蕨市独自の目標を織り込ん
でつくったのは大変素晴らしいと思った。45ページの
成果指標のところでは現状と目標がパーセンテージで示
されているが、目標は減少、増加となっているところ
もある。計画期間が終了を迎えて、令和11年度に評価
を行うときに、アンケート調査結果等で確認して、そ
の数値が現状と比較して減少または増加していれば良
いということだと思う。その比較をどのようにするの
か疑問に思った。

事務局：目標となっている減少、増加やパーセンテージを評価
するときには、計画期間が終了する年にアンケート調
査を実施し、そこでパーセンテージの値をとって、減
少の場合には現状値よりも減っていれば目標達成とい
うことになる。数値の場合も比較して目標値に達して
いれば達成、そうでなければ他の評価ということにな
る。

委員：目標を数値で示しているものと減少または増加として
いるものを変えている意味は何なのかという質問だっ
たのではないか。

事務局：市独自の指標については、具体的な目標値がないものについては減少または増加としている。今の項目については、現行の計画でも同じように目標が減少となっていたので、今まで通りの書き方とした。

委員：差し替え資料の 50 ページでは実績値なしとなっているが、素案の 53 ページ、55 ページでは現状値なしとなっている。言葉を変える意味は何かあるのか。言葉で書いているのと棒線のところとの違いは何か。誤りであれば統一したほうが良い。

事務局：全ページ差し替えることができなかったが、差し替え資料の 50 ページにあるように、実績値なしと表記して注をつける書き方に、後ろのページも全て統一する修正を加える予定である。

委員：21 ページの評価のところにある栄養成分表示や原材料表示を参考にしている人の割合が、50 ページの成果指標ではなくなっているが、何か理由があるのか。

事務局：成果指標は国や県の計画を参考に記載しているが、そちらにはこの項目が入っていなかったため、今回は成果指標から除いた。

委員：ニュースにもなっているように、食品の栄養機能の表示は大切なので、そこをしっかりと市民の方に熟知していただいたほうが健康被害が減るのではないか。

事務局：21 ページの評価を見ると、この項目は悪化している評価 D だったので、そのまま残すかどうかを今一度国や県の計画を見た上で検討したい。次回の会議の際に報告する。

会長：成果指標に掲載したものが、次の計画を策定するときにアンケート調査をとる項目につながってくるという意味では、第 1 次、第 2 次計画のときにあった指標をどの程度残すかということになる。次の計画を策定するときの調査にどのくらい反映するのかという観点から検討していただきたい。

副会長：70 ページには 3 歳児のフッ化物歯面塗布に関する指標

があり、71 ページの市の取組にも記載がある。これは乳幼児健診の歯科健診のときに全員にやっているのか。

事務局：1歳6か月児健診のときに、希望者全員に行っている。希望しない人は、かかりつけ歯科医などで最近したのでこの場ではしないという人が多い。その後も継続してほしいので、フッ化物塗布券を送付して、2歳時に歯科医院などで受けていただき、継続を促している。

委員：1歳6か月児健診はほとんどの子どもが受けるのか。

事務局：法定健診になるので、ほとんどの子どもが受ける。

委員：フッ化物歯面塗布を受ける方がその中の39.0%ということか。

事務局：成果指標の現状値については、3歳6か月児健診の間診で継続して塗布を受けている人を調べている。捉え方が人によって異なるが、定期的に塗布を受けていると答えた人が39.0%ということである。

委員：70 ページで歯周疾患検診を受診した人の割合が10.6%というのは、市の検診を受けた人の割合なのか、他の歯科医院などで受けた人も含めた割合なのか。

事務局：市の検診を受けた人の割合である。

委員：80歳代で20歯以上の自分の歯を有する人の割合や、50歳以上における何でも噛んで食べることができる人の割合はアンケート調査で調べたものか。歯周疾患検診を受けた人の割合は令和4年度だが、コロナの影響で低くなっているのではないか。

事務局：令和3年度が11.4%、令和2年度が11.1%、令和元年度が12.6%であり、平成30年度は13.0%で高めだった。

委員：83 ページの成果指標にBMI 20以下の高齢者の減少とあるが、逆にどれだけ太っていてもかまわないのか。

事務局：国の計画のほうでも、高齢期のやせは肥満より死亡率が高くなるとある。

委員：太っているほうが自分の体重が骨に負荷をかけるので、骨粗しょう症のことだけを考えると太っていないほうが良い。他の病気のこと考えると、この聞き方は気になる。ある程度の範囲に入っていて、しかもBMI 20以下ではないという聞き方が理想ではないか。

事務局：国の計画の指標になっている国民健康・栄養調査の項目がこの通りであり、それを採用している。

会長：45ページの生涯を通じた健康を支えるの成果指標では、20～60歳代の肥満者の割合の減少が指標になっており、51ページの市民の取組では適正体重の維持について記載されている。83ページの高齢者のところではBMIが低い方を減少するとなっている。それぞれのところを見るとつながっているということになるのではないか。65歳以上の方についても、適正体重についての記載がどこかにあったか。

事務局：市民の取組には、高齢になっても適正な体重をとった記載はできるが、指標としてはそこだけ別にとるのは難しい。

委員：超高齢の85歳、90歳になれば極端な肥満は少ないが、70歳、75歳くらいであれば肥満を無視して良いとは思わない。

事務局：75歳未満までは特定保健指導の対象であり、そのことも踏まえて成果指標やアンケート調査のとり方を変えるかどうか、今後検討させていただきたい。

副会長：74ページのがん検診については、私のところでも毎年700人くらいが受けて、1人か2人見つかる状況である。受診率があまりにも低いので驚いているが、実数としてそれぞれのがん検診で年間にどのくらいの人が見つまっているのか。

事務局：精検の結果が確定している令和3年度について見ると、肺がんは7,934人中がんとして確定しているのが3人、胃がんは1,161人中2人、子宮がんは2,630人中1人、大腸がんは3,375人中6人、乳がんは約2,388

人中4人である。

委員：受診率が低いので見つけるのも大変だが、それだけやっても数名というか。実際の患者は大変多く、肺がん以外のがんは早期に見つければ何とかなるものが多いので、何らかの方法を使って、受診率がこの倍くらいになるようにできないか。

事務局：国に報告している地域保健・健康増進事業報告から受診率を出しているが、対象年齢の全受診者の割合ではなく、40～69歳の割合を国の統計では全国指標として使っている。市では肺がん検診は40歳以上の方全員の人口での割合を出していたが、そのときには令和4年度で36.5%であった。国の集計対象になっていない70歳以上の方の受診者が多いが、国の統計には反映されていないので、非常に少ない割合に見えるのではないか。また、市の検診だけのデータなので、会社の健診などで受けた方もいるが、今の集計には反映されていない。実際には何らかの形で受けている人はこの割合よりは多いと思う。

(2) その他

事務局：今後のスケジュールについて説明。

3 閉会

(以上)